

6-5 5/6時の指導計画

(1) 目標

小説に書かれていない場面を想像して考えを交流し、ものの見方や考え方を広げようとする。

(2) 展開

* 表中のゴシック体で書かれた学習活動は、本時における評価の場面を表す。

	学習活動	教材資料	○指導上の留意点 ◆ I C T 活用の場面	評価規準と評価方法 ◇形成的評価による個別指導 Cの状況の生徒への手立て
導入	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の目標を確かめる。</p>	学習計画表 ワークシート⑤	○2~3名の生徒に前時の「振り返り」の欄に書いたことを発表させる。 ◆前時の学習活動において「十分満足できる」状況(A)にあった生徒の記述を紹介し、描写に注意して読み、内容を理解して感想をもつことについて理解を深めさせる。	
展開	<p>2 小説に書かれた現在から先の未来で、「僕」は「エーミール」と「再会する」のかそれとも「再会しない」のかについて想像し、自分の考えをもつ。</p> <p>[手順]</p> <p>1) 想像するときの手掛かりを確認する。一斉</p> <p>2) 小説に書かれた現在から先の未来で、「僕」が「エーミール」と再会するか、再会しないかをこれまでの学習を踏まえて想像する。個</p> <p>3) 想像したことについて理由を明らかにして自分の考えを書く。個</p>	ワークシート⑥	○小説の表現を根拠に再会するかしないかの想像をさせ、立場を明確にさせて考えを交流させる。 ○これまでの学習で捉えた二人の人物像や関係、「僕」と「エーミール」の間で起きた出来事とその時の心情などを手掛かりとするよう促す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 《板書例》 「僕」は「エーミール」に再会するのか、それとも再会しないのかを想像する。 想像するときの手掛け ・人物像 ・二人の関係性 ・「僕」と「エーミール」のものの見方や考え方 ・二人の間で起こった出来事とその時の心情 </div>	◇判断に迷っている様子の生徒には、これまでの学習で使ったワークシートを参照させながら、「僕」がどのような考えをもつ大人となっていったかについて考えを聞き出し、「再会する」か「再会しない」かの判断を促す。

展開	<p>3 グループで交流し、自分のものの見方や考え方を広げる。</p> <p>〔手順〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) グループ交流の手順を確認する。 2) 「再会する」と想像するか、「再会しない」と想像するか、立場を確認し合う。 3) 多い方の立場の考えを、根拠が本文に書かれていることかどうかを確かめながら聞く。 4) 少ない方の立場の考えを、根拠が本文に書かれていることかどうかを確かめながら聞く。 5) 疑問に思ったことについて質問をし合ったり、気が付いたことについて意見を述べたりする。 <p>4 ワークシート⑥にグループの交流を通して広がったり深まったりした考え方を書く。</p>	ワークシート⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の感想を聞いて、自分の考えがどのように変わったかをワークシート⑥に記入させる。 ○考え方を広げるための交流であることを確認する。 <div data-bbox="759 422 1092 878" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>《板書例》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">考え方を広げる話し合い</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">《順序》</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">1 立場を確認する。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">2 多い方の立場の考え方を聞く。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">3 少ない方の立場の考え方を聞く。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">4 疑問に思うことを質問し合う。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">5 気付いたことについて意見を述べ合う。</td> </tr> </table> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○「再会する」か「再会しないか」について必ずしも変える必要はないことと、ものの見方や考え方方が広がったことについて書くことを確認する。 	考え方を広げる話し合い	《順序》	1 立場を確認する。	2 多い方の立場の考え方を聞く。	3 少ない方の立場の考え方を聞く。	4 疑問に思うことを質問し合う。	5 気付いたことについて意見を述べ合う。	<p>【関①】文章を読んで感想をもち、交流して考えを広げようとしている。 【観察】 【ワークシート⑥】</p> <p>考え方を広げるために、自分の考えを述べたり、友達の考えについて質問したりしている。または、その結果をワークシート⑥に書いている状況を「おおむね満足できる」状況（B）と判断する。</p> <p>考え方や根拠の違いに注目させて、相手の考えが納得できるものであれば自分の考えに反映させ、そうでなければ、納得できない理由を考えて言わせる。また、考え方や根拠の違うものについて、交流でのやり取りや、納得できた考え方を書くように促す。</p>
考え方を広げる話し合い											
《順序》											
1 立場を確認する。											
2 多い方の立場の考え方を聞く。											
3 少ない方の立場の考え方を聞く。											
4 疑問に思うことを質問し合う。											
5 気付いたことについて意見を述べ合う。											
まとめ	<p>5 学習計画表の「評価」の欄に学習活動をA・B・Cの3段階で自己評価して書く。また、「振り返り」の欄に「学んだこと・参考になつたこと」を文章で書く。</p> <p>6 次時の「目標」を確かめ、見通しをもつ。</p>	学習計画表	<ul style="list-style-type: none"> ○目標に応じて学習内容がどうであったか考えて振り返るよう促す。 ○板書を参考にして学んだことを書かせる。また、グループや学級での参考になった発言などを書くように促す。 ○次時は学級全体で考え方を交流することを確認する。 								